

由利森林管理署	
タイトル	民・国連携した現地検討会（谷地沢地域森林共同施業団地）
実施年月日	平成24年11月20日（火）
実施場所	秋田県由利本荘市木境国有林1074林班外と民有林
参加者	局署：東北森林管理局、由利森林管理署 7名 外部：子吉川流域林業活性化センター、 （独）森林総合研究所森林農地整備センター秋田水源林整備事務所、 秋田県由利地域振興局、由利本荘市、にかほ市、 本荘由利森林組合 14名 計 21名
<p>【取組の目的・概要】</p> <p>「森林・林業再生プラン」の実現に向けた森林共同施業団地の設定より、路網整備を含め森林施業の集約化を図っていくが、この一環として、流域林業活性化センターや関係機関と連携しながら、高性能林業機械、路網を組み合わせた低コストの林業技術を普及啓発する必要があるため、国有林のフィールドに拘わらず現地検討会を実施した。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該団地内の施業は次年度以降の予定であり、実際の間伐作業現場における意見交換とはならなかったが、搬出方法の見込み等を報告しながら皆で現地を確認。 ・今後の集約化施業を考えるため、ハーベスタによる作業や林地残材の取り扱いを検討。 ・各森林所有者における伐採率の考え方と相違点も話し合い、情報共有を図った。 	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有林の間伐対象地で平坦地があるが、先山まで機械が入るのは困難であるため、現場でハーベスタを使ったとしても、造材機としての使用になる。 ・プロセッサの造材能力が高いことから、伐倒により多くの配慮が必要と考える。 ・間伐の伐採率は、保安林における上限の設定がない場合、現況林分のうっぺい具合を勘案し、民有林では40%程度の伐採率もある。 	
<p>【今後の課題】</p> <p>高性能林業機械によるデモンストレーションのある現地にて、より具体的な意見交換が必要。また、谷地沢地域森林共同施業団地における情報共有の場は毎年必要である。</p>	

タ イ ト ル

民・国連携した現地検討会（谷地沢地域森林共同施業団地）



間伐箇所の説明（国有林）



森林作業道の説明（民有林）



洗い越しの状況（民有林）



間伐箇所の説明（民有林）



現地での意見交換（民有林）